

2010年11月5日

ミスミグループ本社 2011年3月期 第2四半期累計 連結業績 －国際事業の拡大と国内の回復により増収・増益－

株式会社ミスミグループ本社は、本日、2011年3月期第2四半期累計（2010年4月1日～2010年9月30日）の連結業績を発表しました。

主な業績数値は以下の通りです。

	2010年3月期 第2四半期累計	2011年3月期 第2四半期累計	増減率
	百万円	百万円	%
売上高	38,480	58,702	+52.6
営業利益	2,119	8,705	+310.8
四半期純利益	609	4,943	+711.6
1株当たり四半期純利益	6.87円	55.63円	-

<2011年3月期 第2四半期累計の連結業績ハイライト>

1. 国際事業の売上高が大きく伸張

- 2011年3月期 第2四半期累計の売上高は587億円（前期比+52.6%）、営業利益は87億円（前期比+310.8%）、四半期純利益は49億円（前期比+711.6%）で増収・増益となりました。
- 第1四半期に続き、世界経済はアジアを中心とした景気の回復・拡大局面が継続し、総じて堅調に推移しました。
- ミスミグループでは2002年以降、世界主要国における営業拠点・配送センター・生産拠点の拡大、現地語カタログの発刊、ウェブカタログの導入など国際展開を強化してきました。世界経済の回復に加え、こうした打ち手の効果によって当第2四半期累計の国際事業の売上高は半期として過去最高と大きく伸張しました。
- また、昨年度取り組んだ収益構造改革の効果などにより営業利益率は14.8%となりました。

2. F A 関連が好調に推移

- 事業部門別売上高は、自動化学業 362 億円（前期比+67.6%）、金型部品事業 130 億円（前期比+24.0%）エレクトロニクス事業 55 億円（前期比+70.6%）、多角化学業 44 億円（前期比+20.9%）となりました。
- 各セグメントとも当社の主要顧客層である自動車関連、エレクトロニクス関連における活発な設備投資を受け、特にF A（ファクトリー・オートメーション）関連部品の売上が大きく伸張しました。

3. 海外売上高比率は 27.3%

- 当四半期の地域別売上高は、日本 426 億円（前年比+45.9%）、アジア 124 億円（前年比+85.8%）、北米・南米 22 億円（前年比+50.7%）、欧州 13 億円（前年比+29.2%）となりました。
- 海外売上高比率は前年比で 3.3pt 上昇し 27.3%と過去最高を更新しました。

4. 第2四半期末の配当金は9円70銭

- 第2四半期末の配当金は9円70銭とさせていただきました。
- 内部留保金については、従来どおり財務体質の充実・強化を図りながら、長期安定的な経営基盤の確立に向けた商品力・サービス力の向上、国内外の販売体制の強化、新事業の展開などに活用していきます。

5. 2011年3月期の業績見込み

2011年3月期の業績予想（連結）（2010年4月1日～2011年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結業績予想	121,000	14,600	14,320	8,350	94.00

- 通期業績予想に変更はありません。
- 下期は販売の強化、新事業の本格展開、事業拡大に向けたシステム開発など将来の成長に向けて積極的な投資を実施いたします。

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2011年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社及び当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2011年3月期 第2四半期の連結業績の詳細は別添の決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
経営総務室 広報・IR担当
Tel : 03-3647-7037 Fax : 03-3647-5802
mail : cc@misumi.co.jp